

寒さにも負けず 大勢集まりました



初午まつり 百里原に踏み込んで

県事務局スタッフ 荻谷 哲生

百里の初午まつりに初めて参加させていただきました。昨年9月の北海道でのピースエッグの折、東京から参加された方から、「初午まつり、すごくいいですね」と聞かされていたので、今年は是非参加してみようと思っていました。

裏門の横からフェンスに挟まれた細い砂利道を進みます。フェンス越し、原っぱの向うに管制塔や格納庫やが見えます。この回廊は本当に基地の中を通っています！

一番奥にある会場までたどり着くと、そこには鳥居とお社と物見櫓。すでに何人も上がっているその櫓に登って辺りを見渡してみます。南の方から伸びて来た滑走路が、この櫓の手前でカクンと曲がり、正面でまた曲がってさらに北でまた曲がってもと来た進路に戻っていく。この滑走路は本当にくの字に曲がっていました！

目の前に広がるのは飛行場というよりも広々と開けた原っぱで、風は冷たいですが、静かでなんとなく気持ちいいくらいです。そこに戦闘機の姿は見当たりません。そこで思い出しました。今日は休日、自衛隊もお休みしていたのです。普段、ときどき頭の上を飛んでいくあの轟音。これが平日だったならば、一体どれほどの音量が轟いていたことだろうか。そこでまた改めて、空軍基地の滑走路の目の前、この平和公園が鎮座しているということが、不思議にも、そして凄いことだとも思えました。

3.1 ビキニデー集会 参加のご案内

とき:2月27日(金)~3月1日(日) ところ:静岡県焼津市

日程と参加費

2月27日(金)国際交流フォーラム レセプション:5000円

2月28日(土)日本原水協全国集会:

一般 3000円 学生・被爆者 1500円 高校生 500円

世界青年のつどい 2009年 in 静岡:500円

3月1日(日)墓参行進、ビキニ被災55年3.1ビキニデー集会

一般 1500円 学生・高校生 500円

申込み、詳細は茨城県原水協まで tel/fax029-251-9919



青年の平和への取り組み

3.1 ビキニデーに向け学習しました

民青同盟東部地区委員会 関 静花

民青同盟東部地区委員会では、昨年に引き続き、今年のビキニデー集会に多くの仲間に参加しようと、準備を進めています。その一環として、2月1日に、茨城県原水協会長の加藤岑生さんを講師にお招きして、集会に向けた学習会を行い、5人の青年が参加しました。加藤さんには、原水爆禁止運動の歴史と現在の情勢、日本の動きなどについて、加藤さんの生い立ちのなども織り交ぜながらお話しいただきました。核融合の仕組みなど専門家ならではのお話や、現在の情勢についての、アメリカ・オバマ政権の新しい動き、ドイツの元首相らが発表した核兵器のない世界に向けた論文、さらに地球のあちこちに平和の共同体が作られていることなど、核兵器のない平和な世界に向けて情勢が大きく前進していることを知ることができました。原水爆禁止運動を大きくしていくうえで、運動が現実を動かしていることを学ぶことができました。私が大事だと思ったことは、学習して常に展望を見つめながら運動すること、「組織のための運動ではなく運動

があつてこそその組織である」という加藤さんの言葉です。ひとりひとりの願いが出发点となって、はじめは小さな運動でも、それを広げるために組織ができてくるのだということです。核兵器の廃絶は、日本人の悲願。日本だけでなく、今や全世界の願いとなって現実を動かしているということです。

集会参加に向け、民青同盟東部地区委員会では、現在、募金活動を行っています。茨城でも仲間を増やして、ビキニデー集会に参加できればと思います。

第3回憲法フェスティバル

実行委員会のお知らせ

今年は当日のフェスティバルを成功させるためにも、5月3日に向けて県民へ憲法の大切さを訴える取り組みを強めようと実行委員会を早々と立ち上げました。1月の実行委員会で話し合われた方針をもとに作業がすすんでいます。20日には事務局会議をもって、第3回実行委員会でさらに検討を深める事にします。各団体は複数で参加をお願いします。各9条の会のみなさんも是非ご参加して下さいをお願いします。

記

とき:2月28日(土)午後2時~5時

ところ:県立青少年会館

話し合いの内容:

- ①企画部(午前・午後のプログラム、メインテーマ等)
- ②宣伝組織部(チラシ・ポスター案、新聞意見広告、
県民への訴え行動等)
- ③財政部(企画・運動に見合う賛同費の検討等)
- ④その他

平和かわら版

No.524
月3回発行
2009.2.15

平和新聞茨城版

発行:茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



国連決議第1号は原子兵器絶！

現在、世界各国で核兵器廃絶の運動が大きく広がっている。しかし、国連決議第1号が原子兵器廃絶であったことを知らない方が意外に多い。以下簡単に、事実だけを記します。

①第2次世界大戦が終わって、国連憲章の条文が各国間で調印されたのが45年6月26日。この時点でアメリカが原爆を製造している事を知っていたのはアメリカとイギリスの首脳だけであった。だから、核兵器の事は国連憲章の条文には全く触れられていなかった。そして、国連が創立されたのは1945年（昭和20年）10月24日。

②45年7月16日、米ニューメキシコ州アラモゴードの砂漠で地球上、初めての原爆実験が成功した。この実験の前後に原爆製造に携わった科学者は、その破壊力の大きさから厳格な国際管理体制と日本への使用延期をルーズベルト大統領に勧告し覚え書きを送ったが、大統領が急死してしまった。実験成功後、対日使用が強まるなか76名の科学者はさらに後継のトルーマン大統領に厳しく喚起しました。

③しかし、トルーマンはいっさい無視し、日本に原爆を投下した。その被爆の実相が国際社会を揺るがし、46年1月10日から始まった国連第1回総会でこの原爆使用の事が議題になった。続く1月24日の本会議で「原子力の発見より生ずる諸問題を処理する委員会の設置」が全会一致で採択され決議第1号となり、その第5項で「原子兵器および大量破壊に應用できるその他すべての主要兵器を各国の軍備から廃絶すること」としました。

④この国連決議第1号が採択されましたがその効力を発揮できず、米ソの核軍拡競争は世界第3次大戦勃発の危機となりました。世界の平和を求める人々は米ソの大国に平和は任せられないと立ち上がりました。それが1950年6月19日にスウェーデンの首都ストックホルムから全世界に発せられた「原子兵器の廃絶」のアピール署名でした。このストックホルム・アピールこそ、朝鮮戦争での原爆投下をやめさせる大きな力となっただけでなく、いま全世界で繰り広げられている核兵器廃絶署名の創始となったのです。（伊達）

歴史的な事業に、誇りある参画を呼びかけます

「核兵器のない世界を」署名への協力を

原水爆禁止茨城県協議会 会長 加藤 岑生

「核兵器のない世界を目標、追求する」と述べているオバマ米大統領が就任しました。

このオバマ氏の勝利はブッシュ政権が押し進めてきた単独行動主義と核攻撃を含む先制攻撃政策に反対するアメリカ国民世論の審判と勝利であると云うことが出来ます。そしてこの就任は1000万人の無名の人々のボランティアで支えられ実現したと云われています。この事は、あきらめないで「変革」を求める大切さを教えていると思います。

ブッシュ政権は「テロと拡散の脅威」を口実に、2000年5月に合意された核兵器廃絶の「明確な約束」をはじめとする平和と安全を求める諸国民の願いを踏みにじってきました。この間、核兵器廃絶を求める流れは、世界118カ国の国々を結集する非同盟運動や、7つの非核国で構成する「新アジェンダ連合」の一貫した努力に加えて、核保有国の元大統領や元首相、元高官などの指導者らが様々な動機や当面の優先課題の違いはあっても、「核兵器のない世界」を呼びかけ圧倒的な勢いを作り出しています。そして、2005年核不拡散条約（NPT）再検討会議の決裂への批判的検討の上に、核兵器の廃絶を国際政治の共通目的に据え、2010年NPT再検討会議の

「変革」のチャンスを生んでいることです。

このため、昨年8月の原水爆禁止世界大会において2010年5月ニューヨークで開催されるNPT再検討会議に向けた署名に取り組むことと代表を送ることを呼びかけました。核兵器の禁止と廃絶を悲願としている日本国民は、特に核兵器廃絶の国際的な大きなうねりの中で歴史的なチャンスに積極的な役割を果たすことを求められています。国民的な運動で日本人なら誰でも「原爆は嫌だ」という気持ちを持っています。「変革」の展望を知らせ、語り、この歴史的な事業に、誇りある参画を呼び掛けましょう。

1954年、アメリカの水爆実験で被ばくした3.1ビキニ事件を契機として草の根からはじまった原水爆禁止署名がわずかな期間で有権者の半数に当たる3400万筆集めた先人の経験を想起し、住民の1割に当たる1200万筆の署名を集めましょう。

日本平和委員会は組織的な責任として会員20筆をと呼びかけています。

先日の県原水協常任理事会で30万筆を目標に取り組むことが決められました。



蕎麦粉・野菜・味噌など沢山 いただき有り難うございました

1月25日、笠西平和の会の鈴木貞夫さん（市議員）から県事務局員の兵糧にと有り難い差し入れがありました。こころ温まるカンパに感謝申し上げます。とくに南米原産とやらの「つるいも」のようなものは美味しくいただきました。

事務局便り

一月十一日、お天気は生憎の曇り空で、前日の様な日差しも無くとても寒い中での初午まつりになりました。
見上げるような大きな立て看板が、闘争の歴史を概説。実際にその地に足を踏み入れてみると興味が湧いてきます。
挨拶のなかには「世界にたった一つ、基地の中の平和公園。世界遺産にしたっていいんじゃないか」の声。
寒い中、暖かいスイートとシウマイを美味しくいただきました。次回はもっと多くの仲間を引き連れて来られればと思います。（荻）